

IPF

H8/H11/H16・HB4・PSX26W デュアルカラー LED フォグランプバルブ取扱説明書

この度は、IPF 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 ご覧いただきありがとうございます。本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお
 使いいただきますようお願いいたします。お読みになった後も本説明書

は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。
 本文中の⚠️注意マークと⚠️警告マークは取り付け及び取扱いに関して
 大変重要な事項ですので必ず厳守してください。

作業の前に

- ・本製品は、未登録車（登録前の車両）への取り付けは出来ません。必ず登録後の車両へ取り付けてください。
- ・本製品は、車検対応品ですが検査官によっては不適合と判断される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品は、純正ハロゲン / 白熱フォグランプおよび、IPF 製ハロゲンフォグランプ用の LED コンバージョンキットとして設計しています。その他のランプ（ヘッドランプ等）の用途で使用した場合、車検基準に適合しない場合や製品が故障する場合がありますので、取り付けを行わないでください。
- ・本製品は、H8/H11/H16, HB4(9006) および PSX26W 形式バルブの LED コンバージョンキットとして設計しています。その他のバルブ形式（H9, HB3(9005), 9005J, 9006J, HIR1, HIR2 等）が使われている灯体への取り付けは行わないでください。
- ・本製品には適合の可・不可がありますので、必ず当社車種別適合表をご確認願います。
- ・本製品の適合表はノーマル車両での確認結果を記載しています。未調査の車種や改造車については LED バルブの適合についてを参照し、適合可能であることを確認してから取り付けを行ってください。
- ・取り付けの前に点灯テスト要領を参照し、必ず点灯テストを行ってください。
- ・本製品を使用することにより、ラジオなどに雑音が入る場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意



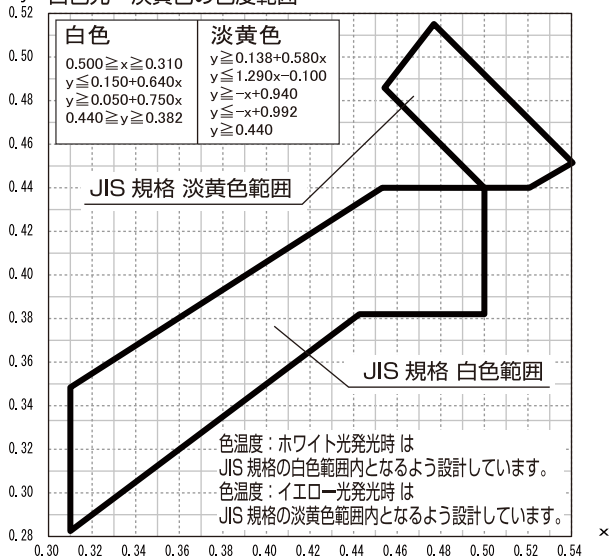
- ・当社 車種別適合表で適合不可となっている車種には取り付けを行わないでください。
- ・本製品の取り付けはお買い上げの販売店もしくは技術力のあるショップに依頼してください。
- ・本製品の取り扱いには十分注意し、落としたり無理な力を加えたりしないでください。特に LED 素子はたいへん壊れやすくなっているため、ぶつけたり触ったりしないでください。
- ・取付作業は必ずエンジンを切り、ランプスイッチを OFF にして行ってください。
- ・点灯中や点灯直後はバルブがたいへん熱いため、やけどなどにご注意ください。
- ・本製品の改造や塗装は行わないでください。
- ・点灯中のバルブを直視しないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。
- ・幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲やケガの原因となることがあります。
- ・本製品は、使用するランプの種類によっては点灯時に色調が異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品を使用することにより、一部車両では玉切れ警告灯が点灯したり、点滅などが発生する場合があります。
- ・本製品を使用中に不具合が発生した場合には、速やかに使用を中止して純正バルブに戻してください。
- ・下記の車両装置は純正バルブとの組合せを前提に設計されているため、本製品を装着することにより正しく作動しなくなるおそれがあります。本製品を使用したことによる下記車両装置の不作為や誤作動、それらにより生じた事故や損害については一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・自動運転 ・衝突被害軽減ブレーキ（自動ブレーキ） ・アダプティブクルーズコントロール ・車線逸脱防止支援システム ・誤発進抑制制御機能
 - ・クリアランスソナー ・駐車支援システム ・アダプティブフロントライティングシステム ・その他、カメラ、ミリ波レーダー、赤外線レーザー、超音波等を使用した装置
- ・本製品は耐水・耐塵設計になっていますが、水滴や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。また、車両の清掃や整備時に、オイルやケミカル類等がかからないようにしてください。
- ・本製品は純正バルブに比べ発熱量が少ないため、フォグランプに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・フォグランプ（霧灯）は天候などの状況に応じて正しく使用してください。

車検に関して

本製品は、下記に示す車検審査の性能要件を満たす車検適合品ですが、純正バルブとは異なった光に見え、車検不適合と判断される場合がありますので、車検審査時にこの書類を審査官に提示願います。（経年劣化などで、灯具の損傷やレンズ面に汚損がある場合、バルブ本来の性能が発揮できない場合があります。）

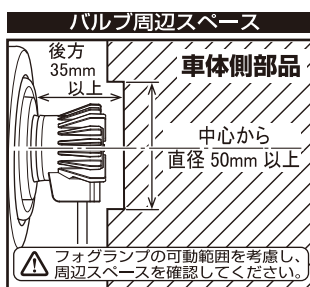
発光色「白色」「淡黄色」

y 白色光・淡黄色の色度範囲

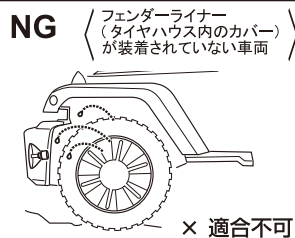


LED バルブの適合について

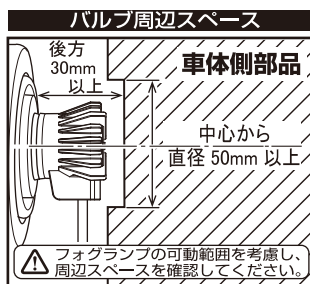
H8/H11/H16, PSX26W タイプ



水滴・泥・粉塵等の直接飛散



HB4 タイプ



水滴・泥・粉塵等の直接飛散



LED バルブ点灯テスト要領

※取付前に必ず行ってください。

<点灯テスト手順>

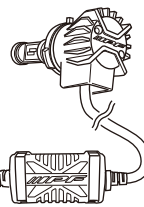
1. 純正バルブのコネクターを外してください。
2. 1. で外した車両側コネクターに本製品のコネクターを確実に接続してください。
3. ランプスイッチを ON にし、正常に点灯することを確認してください。
4. 車両の計器類に警告表示がでないことを確認し、点灯テストを終了します。

⚠ 警告

コネクターが抜けた状態で、ランプスイッチを ON にしたりテスターを当てたりしないでください。車両の警告灯が点灯するおそれがあります。

車両側コネクター

LED バルブコネクター
<極性なし>



構成部品

・LED バルブ ASSY …… 2 個

※イラストは H8/H11/H16 タイプ



・コードクリップ …… 4 本



・L 型レンチ …… 1 個



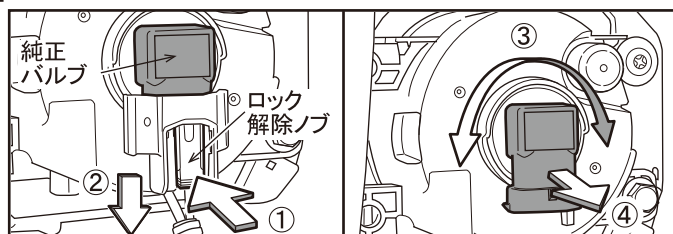
※ PSX26W タイプには付属しません。

取付手順と要領

1 純正バルブの確認

純正バルブの取付状態を確認してください。バルブの取付状態が目視で確認できない場合や、バルブ交換にともなう作業スペースが狭い車両は、フロントバンパーや周辺部品を車両から取り外し作業を行ってください。純正フォグランプバルブの取り外し方、交換方法についての詳細は、車両の取扱説明書をご覧ください。

2 純正バルブの取り外し

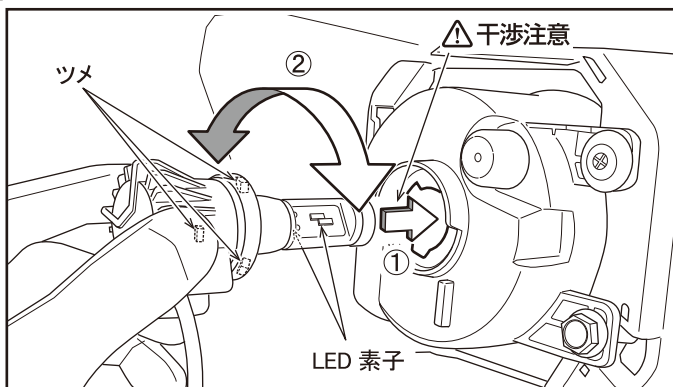


図を参考に、① ② ③ ④の順にロック解除ノブを押しながらコネクターを外し、純正バルブを回転させバルブを引き抜きます。

⚠ 注意

- ・バルブ取り外し時の回転方向は車両や左側・右側で異なる場合があります。
- ・H8/H11/H16 タイプでは、ロック解除ノブが車両側コネクターの側面にある場合があります。
- ・PSX26W タイプでは、コネクターを車両後方方向に外します。

3 LEDバルブの取付



左図を参考に、① ②の順に LED バルブを取付部のツメ（3ヶ所）の位置を合わせてフォグランプに挿入し、回転させ固定します。

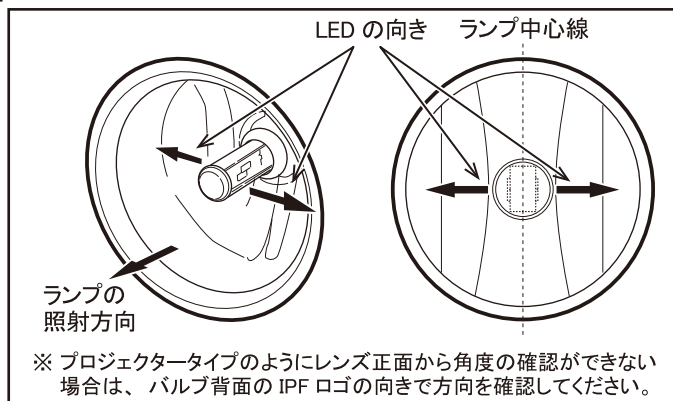
⚠ 警告

無理な力で回転させないでください。また工具を使って回転させないでください。

⚠ 注意

- ・バルブ取り付け時の回転方向は車両や左側・右側で異なる場合があります。車両の取扱説明書などで確認してから取り付けを行ってください。
- ・LED バルブをフォグランプに挿入する際、灯具のふちなどに LED 素子やガラス管部分をぶつけないように注意してください。LED 素子やガラス管に傷が生じると、規定の明るさや配光特性が得られず、車検基準に不適合となるおそれがあります。

4 取付角度の確認 ※PSX26W タイプは除く



フォグランプをレンズ正面から確認し、左図のように『LED 素子が左右方向に向いていること』を確認します。

H8/H11/H16, HB4 タイプで LED 素子の向きがずれている場合は手順 5 に進み、取付角度を調整します。

左右方向に向いていることが確認できたら、手順 6 に進みます。

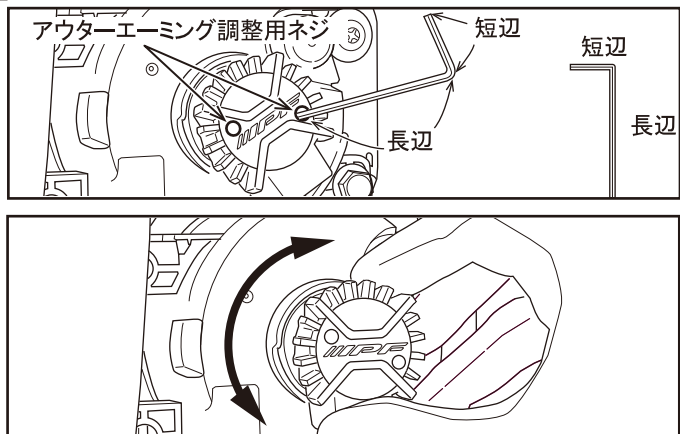
⚠ 警告

取付角度がずれていると、規定の明るさや配光特性が得られず、車検基準に不適合となるおそれがあります。必ず取付角度を確認し、正確に調整を行ってください。

⚠ 注意

H16 タイプの純正バルブを装着した車両では、口金部形状の違いにより全ての車両で調整が必要となります。手順 5 に進み取付角度を調整してください。

5 取付角度の調整 ※PSX26W タイプは除く



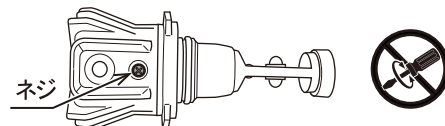
取付角度がずれている場合は左図を参考にアウターエーミング調整用ネジ（2ヶ所）を付属の L 型レンチの長辺側を差し込み緩めてからバルブ本体を回転させて角度を調整します。角度調整が完了したら、アウターエーミング調整用ネジ（2ヶ所）を締め、手順 [4] に戻り、取付角度を確認します。

⚠ 注意

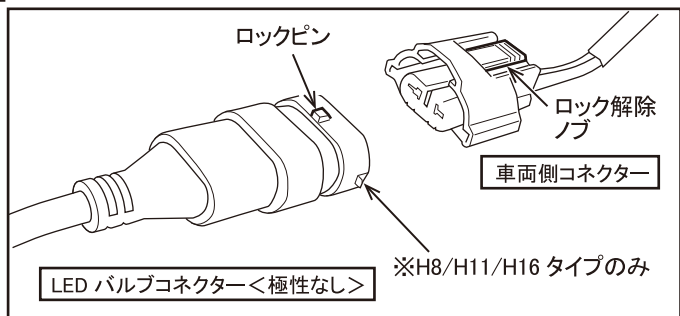
本製品は手順 [6] が完了したあとからでも角度調整が可能となるアウターエーミング機構を搭載しています。車両正面の壁やスクリーンなどに照射することで配光を確認しながらの調整が可能となりますが、その場合は必ず耐熱性の高い手袋などを着用し作業を行ってください。点灯中は LED バルブ本体が熱くなるため、素手で触るとやけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

- ・アウターエーミング調整用ネジは強く締めすぎたり、締め付けが弱すぎたりすると、LED バルブの破損や、取付・取外し不良の原因となりますので、ご注意ください。
推奨締め付けトルク：0.2 ～ 0.5N・m
- ・LED バルブ下面に装着されているネジは緩めたり取り外したりしないでください。



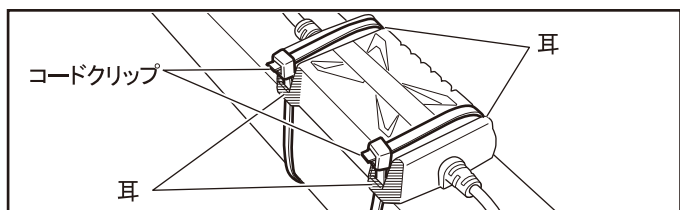
6 コネクタの接続および、ドライバユニット・ハーネスの固定



コネクタのロックピン位置に注意して車両側コネクタに LED バルブのコネクタを奥までしっかりと差し込み、コネクタのロックが確実にかかっていることを確認します。

⚠ 注意

- ・H8/H11/H16 タイプでは、ロック解除ノブが車両側コネクタの側面にある場合があります。
- ・車両側コネクタの個体差などにより、まれにコネクタのロックがかからない場合があります。その場合はコネクタが抜けないように市販のビニールテープなどで固定してください。
- ・ドライバユニットやハーネスが車両部品（ウォッシャータンクやホーンなど）と干渉しないように注意してください。

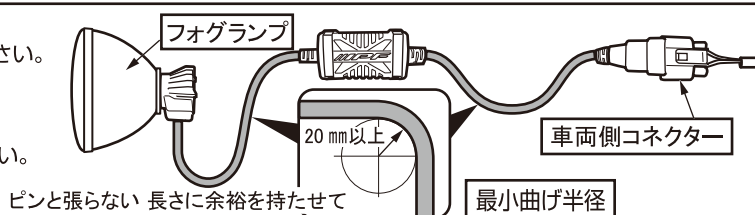


付属のコードクリップをドライバユニットの耳に通し、フォグランプ周辺の適切な場所に固定します。

LED バルブをかるくゆさぶってぐらつきのないことを確認します。フロントバンパーや周辺部品を取り外して作業を行った場合は、取り外した部品を全て組み付けます。

⚠ 警告（断線のおそれあり）

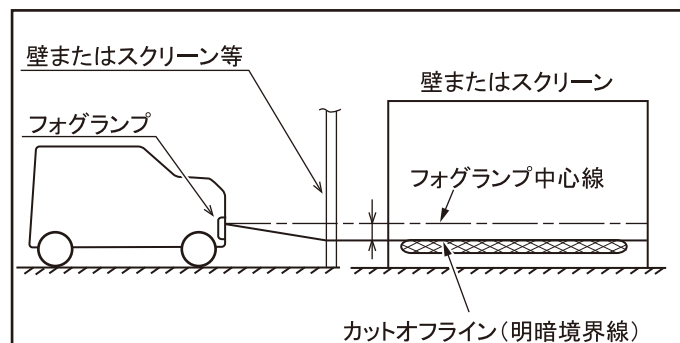
- ・余剰分のハーネスはドライバユニットと一緒に束ねないでください。
- ・ハーネスは無理な力で曲げたり引っ張ったりしないでください。
- ・ハーネスを曲げる場合は、曲げ半径を 20 mm 以上にしてください。



7 点灯確認および光軸の調整

エンジンを始動してからフォグランプスイッチを ON にして、LED バルブが正常に点灯することを確認します。フォグランプインジケータ装着車の場合はインジケータが正常に点灯することを確認してから、下図を参考に光軸の調整を行います。

光軸の調整



車両を平坦な場所に止め、壁やスクリーンに向かってフォグランプを **ホワイト光** で点灯させ、フォグランプの中心線より下方にカットオフライン（明暗境界線）がくるように調整します。光軸調整方法の詳細については、販売店や車両の整備書などで確認してください。

👉 アドバイス

一般的な車両では、後部座席への乗車や荷室への積載によって車両後輪側が沈み込み、光軸が上向きに変動します。本製品は純正バルブよりも明るいいため、このような状態で使用するとフォグランプ（霧灯）としての機能を満たさないばかりか、先行車や対向車へ眩惑を与え危険が生じるおそれがあります。乗車人数や積載量を想定してあらかじめカットオフライン（明暗境界線）を低めに調整するか、乗車人数や積載量が多いときは使用を控えるようにしてください。

発光色の切り替え方法

本製品は天候や走行状態に応じて、発光色をホワイト光 / イエロー光に切り替えることができます。

👉 アドバイス

ホワイト光とイエロー光の同時点灯はできません。

⚠️ 注意

- ・発光色の切り替え操作は必ず停車中に行ってください。
- ・フォグランプの点灯は地域の条例やマナーを守って正しく使用してください。

1 フロントフォグランプを点灯させる

車両のフォグランプスイッチを操作してフロントフォグランプを点灯させてください。

※ イラストはフォグランプスイッチのイメージです。
スイッチの形状や操作方法は車種によって異なります。

2 発光色の切り替え

車両のフォグランプスイッチを操作してフロントフォグランプの消灯・点灯を連続で2回繰り返してください。発光色が切り替わります。

ホワイト光からイエロー光への切替

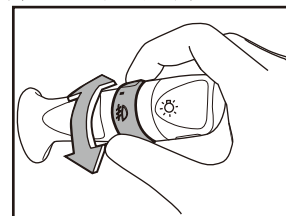
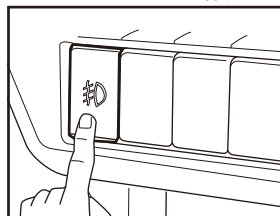
点灯状態（ホワイト光）⇒消灯⇒点灯⇒消灯⇒点灯（イエロー光）

イエロー光からホワイト光への切替

点灯状態（イエロー光）⇒消灯⇒点灯⇒消灯⇒点灯（ホワイト光）

👉 アドバイス

- ・連続で2回繰り返す操作は2秒以内に行ってください。2秒を超えるとタイマーがリセットされ発光色が切り替わりません。
- ・発光色の切り替え操作はフォグランプが点灯している状態から始めてください。消灯状態から操作すると2.5回の繰り返し操作が必要となります。
- ・再度発光色を切り替える場合は、6秒以上経過してから操作してください。



左右ランプの発光色が色違いになった場合には（オールリセットモード）

左右が独立して点灯するランプ（コーナリングランプ機能付フォグランプなど）に装着した場合や、左右の点灯・消灯のタイミング誤差などによって、稀に左右ランプの発光色が色違いになる場合があります。その場合は以下の操作を行ってください。

強制的にホワイト光発光（お買い上げ時の状態）に戻ります。

消灯・点灯を連続で4回繰り返します。

点灯状態（左右色違い）⇒消灯⇒点灯⇒消灯⇒点灯⇒消灯⇒点灯⇒消灯⇒点灯（左右ホワイト光）

※操作は5秒以内に行ってください。

左右色違いが頻繁に発生する場合は、当社お問い合わせ窓口（Tel：027-346-3316, Eメール：support@ipf.co.jp）までご相談ください。